

学校 教育 目標	自ら学び、確かな学力をつけよう (知)					
	互いに支え合い、思いやりを持とう (徳)					
	健やかな心と体を育もう (体)					
	広い視野を持ち、社会の一員として行動しよう (公)(開)					
学校 概要	創立	4 周年	学校長	小佐野 和人	副校長	伊藤 純子
	3 学期制	一般学級: 14		個別支援学級: 2		
	児童生徒数: 478 人		主な関係校: 上郷小学校 庄戸小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック		小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
	〈言語能力〉 見・解決能力	上郷 小 小	上郷 庄戸

中期 取組 目標	<ul style="list-style-type: none"> * 「わかる」「できる」「楽しい」授業づくりを推進し、学力の向上を図ります。 * 生徒一人ひとりを徹底的に大切する、きめ細やかな指導を継続し、学校が生き生きと過ごせる場となるようにします。 * 家庭・地域・小中一貫教育推進ブロックとの絆を深め、共に学び、共に育つ学校づくりを推進します。 * 生徒と職員・保護者と職員・地域と職員そして職員同士の信頼関係を深め、活気ある学校づくりを推進します。 * 統合により学区が広がり、関わる地域も広がったが、引き続き地域に根差した愛される学校を目指します。
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
確かな学力	①校内研修を行うと共に、通常の授業を見合い、指導方法や授業改善等、授業力向上を図ります。②視聴覚機材等を活用し、「分かる」授業を実践します。③ITでの指導内容の情報共有を的確に行い、個に応じた授業を行います。④発表等、表現力を高め、コミュニケーション能力の向上を図ります。
担当 学力向上プロジェクト	
豊かな心	①肯定的な自己認識を育む、日常的な「いのちの教育」の実践を図ります。②いじめ根絶に向けた定期的なチェック体制づくりと教育相談の充実を図ります。③人権作文や福祉活動等、体験を通じた人権意識の啓発を図ります。④あいさつ運動や、道徳や学活等を通じて規範意識の向上を図ります。
担当 道徳・人権	
健やかな体	①新体力テストの結果から、生徒が自己の状況を把握し、課題克服ができるようにします。②体育祭を通じ、仲間と協力して努力する態度を育てるとともに、心の成長を図ります。③学校保健委員会等の活用による健康で安全な生活や規則正しい食生活を通じた、健やかな心と体の育成に努めます。
担当 保健体育科・保健安全	
特別支援教育	①特別支援コーディネーターを軸としたケース会議を定期的開催し、生徒状況の把握・共有を行い、生徒理解を深めます。②スクールカウンセラー、区子ども家庭支援課、児童相談所等との連携を図り、個に応じた課題解決を図ります。③日常的な教育相談を実践し、支援の充実を図ります。
担当 特別支援委員会	
生徒指導	①日常的な教育相談を行い、状況を的確に把握し、個に応じた指導を行います。②体罰根絶による毅然とした指導と、心情に寄り添った指導を行います。③生徒を「認める」「褒める」場面を積極的に作り、自尊感情を高めます。④保護者や関係諸機関と連携し、多面的に生徒の状況を把握します。
担当 生徒指導部	
地域連携	①小中の授業交流、体験交流、生徒・教職員・PTA・地域との交流の機会を多くし、地域の一員としての自覚を高めます。②学校情報を、学校便りやホームページを活用し、積極的に発信します。③地域と協働した学校づくりを推進し、学校力を高めます。
担当 教務部	
キャリア教育	①1年ではドリームマップ・職業講話、2年では職業体験を実施し、体験場所の充実を図ります。3年では家庭の意向も尊重しつつ、生徒が主体的に進路選択に臨めるよう、進路情報を積極的に発信します。②高校見学やライフプランニング、講話なども積極的に取り入れ、意識の向上を図ります。
担当 学級・総合	
環境整備	①校舎内外の掲示物を学級委員会・生徒会と連携し、活動記録等を積極的に掲示します。②廊下等の活動場所に植物を置き、生徒達や教職員が話しやすい環境づくりをします。③学校近隣の公園や道路の清掃活動を定期的実施し、地域への感謝の気持ちを表すと共に、奉仕の心を育てます。
担当 保健安全・備品営繕	
いじめへの対応	①毎期の主任会やいじめ防止対策委員会を充実させ、いじめの未然防止・早期発見に努めます。②定期的なアンケートや教育相談を通じて、実態把握といじめの未然防止・早期発見・解決に努めます。③誰もが安心して参加でき、自尊感情を高める授業づくり・集団づくりを推進していきます。
担当 いじめ防止委員会	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①今日的課題に対して、計画的な研修を実施し、教師力向上に努めるとともに、若手職員の学習指導・生活指導力を高めます。②職員相互の授業見学を推進し、見られやすい・見たい雰囲気づくりに努め、教師力向上を図ります。③組織力強化とミドルリーダー育成を目指し、学年連絡会の充実に努めます。
担当 教務・教育プロジェクト	